

令和5年度都立工芸高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
英語	「コミュニケーション能力」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝える機会を増やす ・文法・語法・語彙については、選択問題・2文同意問題・並べ替え問題をランダムに行い、小テストにより全体の復習と定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 ・与えられた教材のみならず、関連する様々な英語情報を積極的に見つけ、英語学習に取り組む姿勢をさらに発展させる。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の建物や街並みが取り上げられた新聞などを教材として取り扱う。 ・話題の小説や読んでほしい良書の紹介を中心に言葉の力を伝える取り組みを行う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方 ・考え方を働かせた数学的活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な事象を数学に置き換え処理できる事例を工夫する ・ローンの金利について、バブル期と現在のものを比較しながら返済シミュレーションを行い、計算式を現実的な数字としてとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリや電子マネーの例を用いた授業の展開を行う(例)Paypay決済のキャンペーンではどのパターン事例が高確率なのか。主催者が儲かるのはどちらか。顧客が多く参加するよう動かすことができる期待値はどちらか、などを検証する。
理科	「探究過程のプレゼン」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて、観察、実験などを通して、概念や原理・法則の理解を図り、観察、実験などを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で討論し、その内容を教室全体で端的に口頭で伝える。討論の過程・推移を互いに評価する。
社会	資料と事象を関連させて表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢目を向けながら、冷戦や対戦などを理解し、近代化・国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの地理・歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の地理・歴史との関連性について考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を読み取ることができるよう、原典を読む。 例)エリクソンの心理分析 ルソー「エミール」 ・一人一台端末の活用
家庭	「実践力」を高める	人の一生と家族、家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的知識と技術を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・酵母に関する知識では膨らむ実験によりパンを作成するなど実生活と結びつける。 ・本校の特色を生かし、食器のデザイン、おにぎりケースの作成を行う。
保健体育	健康の保持増進と体力の向上を目指す	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・各科の特色を生かした得点板や入場門の作成などを行い、科ごとに協力、競い合う大会の実施 ・5月体育祭実施 ・3月球技大会実施
アートクラフト	金属の柔らかさとぬくもりを形に込める	古典から受け継がれてきた金属加工の伝統技法を学び、現代感覚にあふれた美しい工芸作品を生み出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり人材育成プログラム講習会参加 ・伝統工芸展・日展・新工芸展への見学会実施 ・オペラ鑑賞 ・アクリウムコンテスト参加 ・糸鋸レース開催
マシンクラフト	マシンで自分のイメージを形にする	生活に潤いをもたらす工芸品や工業製品をデザインし、プロダクトデザインの基礎を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり人材育成プログラム講演会参加 ・危険物取扱者検定、計算技術検定、基礎製図検定、機械製図検定、ガス溶接技能検定、アーク溶接特別教育、全国製図コンクール、色彩検定など参加
インテリア	住まいをデザイン・制作し、提案する	家具製作の為に木工技術、出来上がった状態を使用者に示す完成予想図の描き方、模型の作り方、CGを使ったシミュレーション技術、インテリアコーディネーター、プレゼンテーションの方法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸東京たても園見学会実施 ・ものデザインコンテスト参加 ・建築系高校生作品展参加 ・JAPANTEX見学会実施 ・建築現場見学会実施 ・その他各種検定への参加
グラフィックアート	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアコンテンツを創造する ・優れた感性と人間性を培う 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルメディアを基盤としたヴァジュアルコミュニケーション能力を培う。 ・メディアコンテンツ制作に必要な企画力、プレゼンテーション能力を高める。 ・様々なメディアに対応した情報のデザイン・編集・加工能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真撮影会実施 ・IGAS見学会実施 ・版画展見学会実施 ・Page見学会 ・実習見学会 ・報道写真展見学会実施
デザイン	感性を高め、クリエイティブな精神と技術力を高める	デザインに必要とされる鋭い感性、柔軟な発想力、美的造形力を身に付けるため、デッサンやクロッキー、色彩や立体の構成力を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会見学 ・周辺の町で写生会 ・銀座/青山/六本木リサーチ ・講習会実施(製本、イラスト、レンダリング、モデリング、コピック、水彩画、トップクリエイターなど)